

企業景況調査報告書

(令和元年7～9月期)

< 目次 >

質問1	調査の概要・結果概要	1
質問2	直面している経営上の問題点	2
質問3	消費増税への対応について	3
質問4	意見等自由記載欄	4
DI	集計結果・分布	5
調査票	様式	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2019年7～9月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	令和元年10月上旬
回収状況	98社(回収率98%) ※前回(4～6月)97社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業20社、その他6社)

<今期の状況> (5ページ表参照)

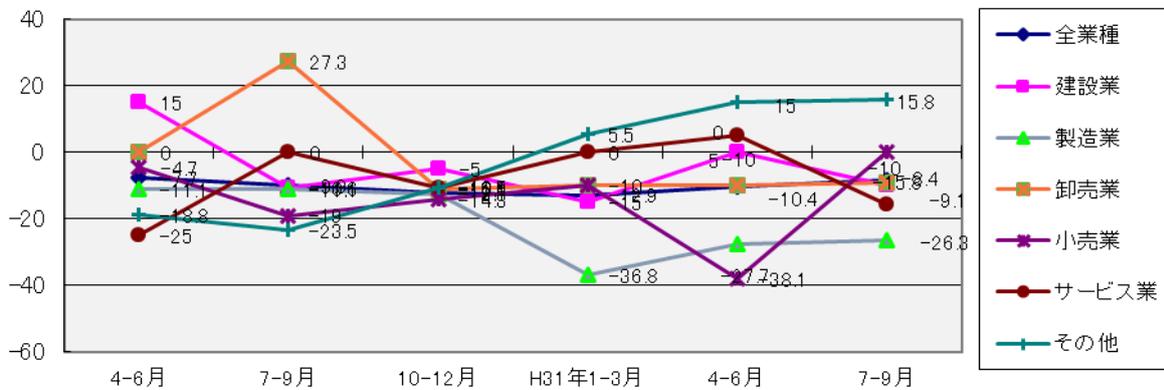
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲10.4から上昇し、▲8.4となった。業種別に見ると、製造業・卸売業・小売業・その他の業種で上昇しており、それぞれ製造業は▲26.3(前期▲27.7)、卸売業は▲9.1(前期▲10.0)、小売業は0.0(前期▲38.1)、その他の業種は15.8(前期15.0)と上昇している。一方、建設業・サービス業では下降しており、建設業は▲10.0(前期0.0)、サービス業は▲15.8(前期5.0)という状況である。

<来期の見通し> (5ページ表参照)

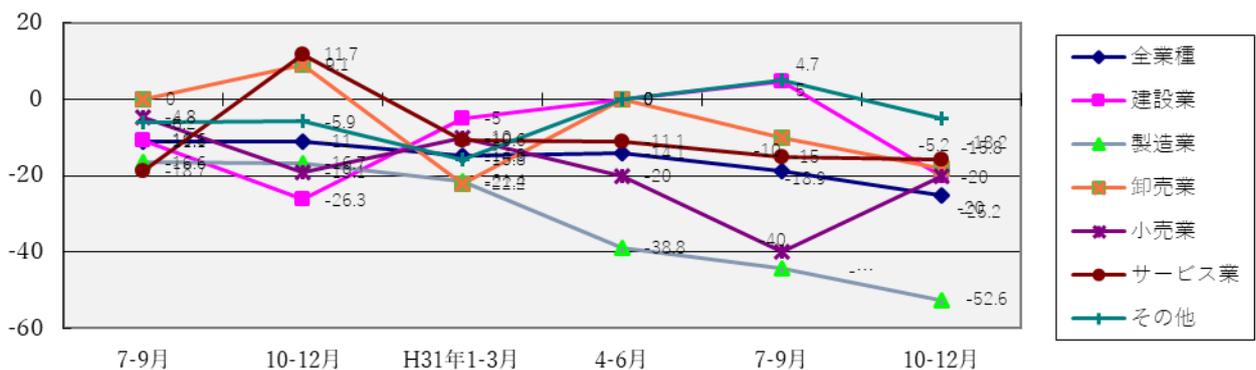
来期の見通し(2019年10～12月)では、全業種のDI値は前期の▲18.9から下降し、▲25.2となった。業種別に見ると建設業は▲20.0(前期4.7)、製造業は▲52.6(前期▲44.4)、卸売業は▲18.2(前期▲10.0)、サービス業は▲15.8(前期▲15.0)、その他の業種は▲5.2(前期5.0)と5業種で下降する見通しとなった。一方、小売業は▲20.0(前期▲40.0)と上昇する見通しとなった。全体としては、来期の見通しに不安を感じている事業所が多いことが窺える。経営上の問題点として、前回に引き続き「売上・受注減少」、「人手不足」を挙げる事業所が多かったが、「原材料・仕入価格上昇」という回答も多くみられた。後述するが、消費増税が始まったことで今後の売上等への影響を懸念する意見も多く、それが反映される結果となったように思われる。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

[上位項目]

※ () 内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少 (41)	人手不足 (38)	消費・需要の停滞 (32) 経費の増加 (32)
	前期	売上・受注減少 (38)	人手不足 (36)	競争激化 (30) 原材料・仕入価格上昇 (30)
建設業	当期	人手不足 (12)	原材料・仕入価格上昇 (9)	経費の増加 (8) 利益率低下 (8)
	前期	人手不足 (14)	経費の増加 (8)	売上・受注減少 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7)
製造業	当期	売上・受注減少 (11)	原材料・仕入価格上昇 (7) 経費の増加 (7)	人手不足 (6)
	前期	売上・受注減少 (11)	原材料・仕入価格上昇 (10)	経費の増加 (5) 人手不足 (5)
卸売業	当期	売上・受注減少 (7)	競争激化 (5)	消費・需要の停滞 (4) 原材料・仕入価格上昇 (4)
	前期	売上・受注減少 (7)	競争激化 (6)	原材料・仕入価格上昇 (4)
小売業	当期	消費・需要の停滞 (12)	競争激化 (8) 売上・受注減少 (8)	人手不足 (6) 利益率低下 (6)
	前期	消費・需要の停滞 (12)	競争激化 (10)	売上・受注減少 (6)
サービス業	当期	人手不足 (8)	経費の増加 (7)	消費・需要の停滞 (6) 売上・受注減少 (6)
	前期	人手不足 (10)	原材料・仕入価格上昇 (6) 経費の増加 (6)	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 利益率低下 (5)
その他	当期	経費の増加 (3) 人手不足 (3)	売上・受注減少 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2) 店舗・生産設備不足・老朽化 (2) 新分野進出 (2)	競争激化 (1) 売上・受注単価低下 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1)
	前期	利益率低下 (4)	消費・需要の停滞 (2) 売上・受注減少 (2) 人手不足 (2) 新分野進出 (2)	競争激化 (1) 売上・受注単価低下 (1) 原材料・仕入価格上昇 (1) 店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 経費の増加 (1) 代金回収難 (1)

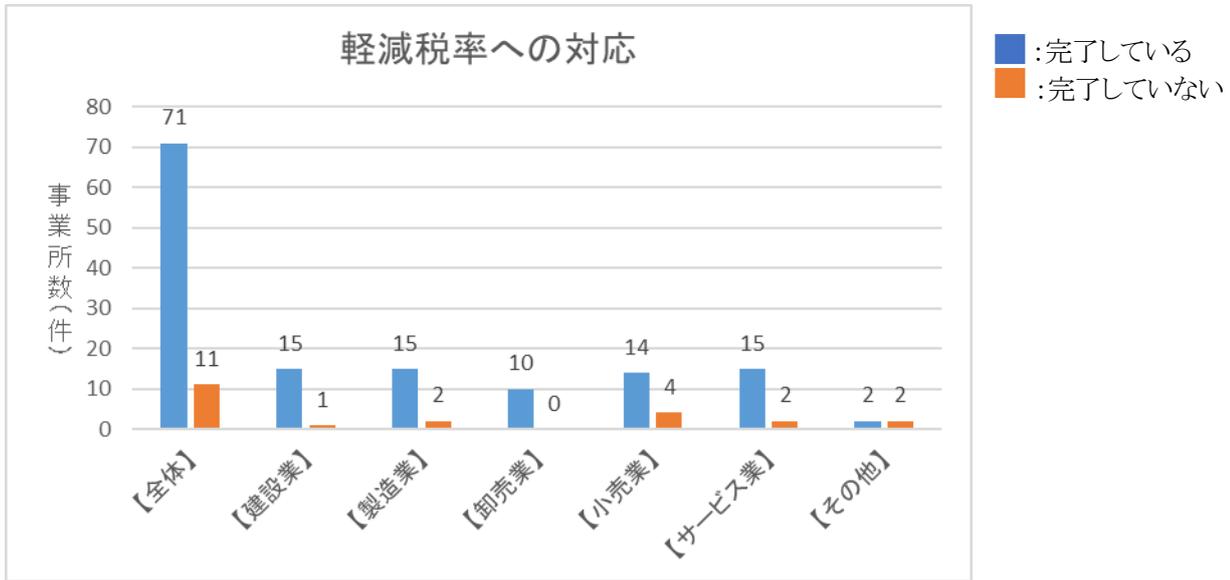
17 その他

- ・気候変動
- ・消費増税
- ・熟練者の不足
- ・人口減少

質問3 消費増税への対応について

10月から始まった消費増税について、軽減税率への対応と今後の影響について調査を行った。

軽減税率への対応については、下図に示す通り大半の事業所が対応済みという結果になった。また、未対応と回答した事業所については、レジ等の手続きや設定が間に合っていないという意見が挙げられた。



また、消費増税に伴う今後の課題としては、「消費の低下・停滞」、「売上減少」といった意見が多く挙げられ、その他には「事務処理の煩雑化」等軽減税率導入に対する課題も少数見られた。また、軽減税率制度に対する消費者の理解度について不安視する意見もあった。まだ消費増税が始まったばかりということもあり、全業種において先行きに不安を感じる事業所が多い結果となった。

	今後の課題
建設業	<ul style="list-style-type: none"> 受注単価の低下 ・ 8%と10%の伝票処理 ・ 軽減税率制度による事務の煩雑化 消費低迷による売り上げ減少 ・ 物品販売店程ではないが仕訳に手間がかかりそう
製造業	<ul style="list-style-type: none"> 消費の低下 ・ 増税による値引き交渉が出てくることが予想される 軽減税率制度に対する一般消費者の理解 ・ 従業員の給料 ・ 増税による買い控え
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 売上ダウン ・ 仕入価格上昇 ・ 買い控え、消費の停滞が進み、売上の減少に転じる
小売業	<ul style="list-style-type: none"> 販売単価増による買い控え ・ 販路拡大 ・ キャッシュレス対応 ・ 値下げ競争激化 増税前特需の反動による売上減
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 業務量の増加 ・ 人件費増 ・ 事務の煩雑化 ・ 集客方法 ・ 経費削減による客離れ
その他	<ul style="list-style-type: none"> 買い控えによる売上減

質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・中部地区において今後公共建物の物件がほとんどない状況になっており、各企業も死活問題となるであろう事が予想される。建設業も「造る」時代から「維持する」時代へ経営上もシフトする必要があると思う。生き残りをかけた熾烈な競争が始まるのではないだろうか。また、企業閉鎖、倒産するところが増加してくるのではないだろうか。
- ・気候変動による社員の作業環境対策。
- ・公共工事が減少している。
- ・若手労働力（特に技術者）の確保についての情報交換の場が欲しい。

【製造業】

- ・最低賃金の上昇ペースが早すぎるのではないか。
- ・人口減少の影響が少しずつでてきている。発注単位が減少している。
- ・軽減税率制度では食品は8%だが、消費増税が全体的に消費の低迷に繋がるのではと心配している。

【卸売業】

- ・新店舗の出店により、納品先の量販店2店舗に影響あり。

【小売業】

- ・消費税増税はやむを得ないにしても、軽減税率導入は現場が困惑しています。迷っていらっしゃる会員さんにごく丁寧なフォローをお願いします。
- ・景況感は悪化していると思われる。

【サービス業】

- ・倉吉市の発注が第2庁舎等にかたまっている。多くの発注を望む。
- ・人件費が高くなり、売上が追い付かなくなる。売上単価を増やすことになる。設備費も増える。
- ・売方の税率でなく、商品による税率にしてほしい。仕入、原価が上がり利益率が低下する。
- ・過去の例では消費税が上がると景気が悪化して税収が下がっています。まして今回は、デフレ脱却していない状況での増税です。当社としては、短期的に増税対策の景気刺激策の仕事が期待できると思うが、中長期的にみると日本経済にかなりのダメージが予想されるので、先々当社の周辺の景気も悪くなることが予想されます。経済対策は公共事業に限らなくても、長期的に行ってほしい。
- ・飲食が手軽で安いコンビニエンスストア等に流れ、売上が減少傾向にあり、そして増税、原材料上昇、運賃上昇、人件費上昇と経費の増加は厳しい。

【その他】

- ・売上減少、入店店舗の困難さ。
- ・幹部候補生を熱望。

D I 集 計(前年同期比=2019年7~9月期、来期の見通し=2019年10~12月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.2	-32.6	4.1	9.6	-14.5	-24.7
製造業	5.2	-44.5	21.1	11.1	-21.0	-55.6
非製造業	-11.4	-29.9	0.0	9.2	-13.0	-17.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.3	-7.4	6.1	3.1	0.0	0.0
製造業	-10.5	-16.7	5.3	5.6	5.3	-10.5
非製造業	-7.7	-5.3	6.3	2.6	-1.3	2.6

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.4	-25.2
製造業	-26.3	-52.6
非製造業	-3.9	-18.4

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.2	-32.6	4.1	9.6	-14.5	-24.7
建設業	-23.8	-38.1	-9.5	9.5	-9.5	-4.8
製造業	5.2	-44.5	21.1	11.1	-21.0	-55.6
卸売業	-45.4	-45.4	0.0	27.3	-27.3	-18.2
小売業	0.0	-31.5	-9.5	-5.3	-10.0	-27.8
サービス業	-15.0	-30.0	15.8	15.8	-21.1	-15.8
その他	66.7	33.4	16.7	0.0	16.7	-33.3
非製造業	-11.4	-29.9	0.0	9.2	-13.0	-17.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.3	-7.4	6.1	3.1	0.0	0.0
建設業	5.0	10.0	19.0	9.5	0.0	9.5
製造業	-10.5	-16.7	5.3	5.6	5.3	-10.5
卸売業	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0
小売業	-14.3	-21.0	0.0	0.0	0.0	-5.0
サービス業	-15.0	-10.0	0.0	0.0	-5.0	5.0
その他	-16.7	-16.7	0.0	-16.7	0.0	0.0
非製造業	-7.7	-5.3	6.3	2.6	-1.3	2.6

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.4	-25.2
建設業	-10.0	-20.0
製造業	-26.3	-52.6
卸売業	-9.1	-18.2
小売業	0.0	-20.0
サービス業	-15.8	-15.8
その他	15.8	-5.2
非製造業	-3.9	-18.4

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊟

倉吉商工会議所企業景況調査票(2019年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2019年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(2019年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他: 具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】10月からの消費増税について、以下の質問にご回答ください。

1. 軽減税率制度への対応はお済みですか。

① () 完了している → 3へ進んでください / ② () まだ完了していない → 2、3へ進んでください

2. 対応できていない内容、理由等についてご記入ください。

[_____]

3. 消費増税に伴い、貴社における今後の課題と思われる事項等についてご記入ください。

[_____]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。